

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる	一般小売店〔土産〕 （経営者）	・10か月連続で前年比プラスが続いており、回復は本物である。	
		乗用車販売店（経営者） 旅行代理店（経営者）	・来月早々に新型車が投入されるため来客数が増える。また夏のボーナス商戦で買い得感も高まる。 ・国際情勢も落ち着き、良くなってくる。	
	やや良くなる	商店街（代表者）	・単価が若干上昇しており、良い物は購入するという姿勢がみられる。	
		商店街（代表者）	・オリンピック開催によって薄型テレビなどの販売増加が見込まれる。	
		百貨店（販売促進担当）	・売上は前年から上昇してきている。特に高級服部門は好調に推移している。現在はビジネス部門が苦戦しているが、今後この分野が上昇すれば更なる好調が見込まれる。	
		百貨店（外商担当）	・外商の客先で仕事が増えているとの話を聞いており、中元商戦では受注の増加に期待ができる。	
		スーパー（経営者）	・例年7～8月は順調に売上が伸びる時期であるが、今年はずなぎなどが思ったより売れており、夏にも期待が持てる。	
		コンビニ（店長）	・客に対して目新しい提案を出し続ける限り、良くなっていく。	
		コンビニ（店長）	・前年比の客単価がプラスの日が出始めている。景気回復の兆しが少し見えている。	
		コンビニ（商品開発担当）	・売上は天候に応じた動きになっており、今後は週末の天候が良ければ売上に繋がってくる。	
		家電量販店（店員） 乗用車販売店（従業員）	・客の動きと物の動きがマッチしてきている。 ・新型車の発売を6月に控え、先行受注台数に勢いを感じる。1,000CCを主力とした新スモール2BOX車を販売の中心に据え、発表会などで店頭の活気を更に取り戻し、夏のボーナス商戦に臨む。	
		住関連専門店（営業担当）	・持家住宅が好調である。また、愛知万博、中部国際空港関連の特需もあり、さらに大手自動車メーカーやデジタル家電メーカー関連の建物の設備投資などが出てきている。	
		その他小売〔雑貨卸〕 （経営者）	・実際に注文につながる引き合い件数や商談成立件数、受注件数が増加している。	
		その他専門店〔雑貨〕 （店員）	・例年と比べて特にファミリー客の予約が増加している。	
		一般レストラン（スタッフ）	・来客数の増加は今後も続く。	
		スナック（経営者） 旅行代理店（従業員）	・法人客が以前よりも多少増加してきている。 ・夏休みの家族旅行の申込シーズンとなり各種旅行パンフレットを店頭に出し始めているが、パンフレットのはけ具合は好調で取扱量も増えるのではないかと期待している。海外旅行は、昨年のようにSARSによる旅行中止や自粛がない点と、オリンピック観戦などで確実に増加する。	
		タクシー運転手	・景気の良さはまだタクシー業界には及んでいないが、今後は当業界にも波及してくる。	
		通信会社（開発担当）	・ソフトウェア開発の受注は、開発項目に偏りがあるものの順調に受注できており、失注となる件数が減っている。	
		その他サービス〔語学学校〕 （経営者）	・入校者数が徐々に増加している。	
		住宅販売会社（従業員）	・今のところ国内受注、利益ともに増加傾向にある。	
		変わらない	商店街（代表者）	・天候に左右される要素が大きくなっており、まだまだ不安定である。
			商店街（代表者）	・夏が暑くなれば景気は良くなっていく。
	商店街（代表者）		・客は相変わらず必要以外の物は購入せず、自家消費が伸びていない。良くなる材料は特に見当たらない。	
	一般小売店〔結納品〕 （経営者）		・小売業にはまだまだ厳しい風が吹いている。	
	一般小売店〔薬局〕 （経営者）		・東濃地方では企業、個人とも景気の良い話はあまり聞かれない。銀行も相変わらず実績が向上している企業にしか貸出していない。	
	一般小売店〔酒〕 （経営者）		・ワインや焼酎の一部が値上げを発表しており、物価上昇の兆しではないかと懸念している。	
	一般小売店〔書店〕 （経営者）		・競合店が増え競争が激しくなっている。	

一般小売店〔土産〕 (経営者)	・良くなる要素があまり見当たらない。
百貨店(売場主任)	・以前と比べてバーゲンなどで商品が大量にあっても売れる時代ではない。客は気に入った物だけは惜しげもなく購入するが、興味をそそる物、必要な物以外は購入しないという流れが定着している。
百貨店(企画担当)	・以前のような買い控えはみられなくなっている。ただし、売上不振でバーゲンが頻繁になる中、客はいくら安くても無駄な買物はしなくなっている。
百貨店(企画担当)	・ここ数か月、ちょっとした気温や天候の変化にファッション商材の売上が大きく左右されている。客のマインドと商品のタイミングが一致しないと消費に結び付かない状況である。今後も小売業の想定と実際の天候がずれることがあり得るため、この傾向はしばらく継続する。
百貨店(企画担当)	・夏物クリアランスは一時的に盛り上がると予想されるが、中元ギフトの衰退と相殺されるため現状の売上が続く。ボーナス需要がやや増加することが期待材料である。
百貨店(経理担当)	・外商の売上が低迷している。店頭売上も芳しくない。
スーパー(経営者)	・競合店同士のチラシ合戦に客は慣れてしまい、安くてもたくさん購入せず色々な店を転々としているため、客単価は上昇しない。
スーパー(店長)	・消費税総額表示に対して消費者が慣れてくると予想され、ここ1~2か月のような客単価の低下は徐々に解消してくると判断している。
スーパー(店長)	・一部の物品で若干のインフレ傾向と聞いているが、一般小売業では相変わらずデフレである。一品単価、客単価の低下は依然として続いており、この傾向はまだ変わらない。
スーパー(店員)	・現状は数か月前に期待したほどには良くなっていない。今後も今の状況が続く。
スーパー(仕入担当)	・大豆価格の高騰で豆腐や納豆など大豆関連製品の原価が値上がり傾向にあるが、売価に転嫁できない。原油価格の高騰から刺身などの値上げ要請も予測され、今後は利益面で厳しさが増してくる。 ・また総額表示となった消費税5%分も、競合店との競争が激しいため価格転嫁できない状態が続く。
スーパー(経営企画担当)	・既存店の売上が停滞し始めている。
コンビニ(経営者)	・同タイプの同業他社との競争が最終段階に入っており、廃業する店舗も目立ってきている。しかしこの1~2年を我慢すれば安定した経営ができると考えている。
コンビニ(エリア担当)	・来客数、売上とも前年をクリアしているが、厳しい競争は続いている。客の単価に対するシビアな状況にも変化がない。
コンビニ(エリア担当)	・来客数は前年を上回っているが、単価は下回っている。様々な仕掛けをしてもこの状況は変わらない。
コンビニ(売場担当)	・駅売店では、新幹線利用客が増えていることにより、新幹線の売店売上は増加している。しかし通勤客の単価は低くなり、在来線の売店売上は減少している。
衣料品専門店(経営者)	・来客数は少し増えているが、まだ勢いがいい。
衣料品専門店(企画担当)	・消費意欲を高めるトレンド要素が見当たらない。
家電量販店(経営者)	・現状はまだ割安品のほうが売れており、所得が増えて物が売れるという状況にはなっていない。
乗用車販売店(経営者)	・良くなる要素は全く見当たらない。
乗用車販売店(従業員)	・変化する要素が見当たらない。
乗用車販売店(従業員)	・客の来店内容を見ると、単に車を見に来るだけでなく、見積り依頼して真剣に品定めする客が増加してきている。この状況が続けば受注に結び付いていく。 ・サービス工場のほうは、在庫台数が落ち込み、在庫台数をカバーするため売上単価を低下せざるを得ない状況にあり、良い材料はあまりない。
乗用車販売店(従業員)	・原油、ガソリンの値上げによる影響を心配している。
乗用車販売店(従業員)	・5月の動きは例年に比べて良いが、取り立てて明るい材料があるわけではなく今後も不透明である。

自動車備品販売店（経営者）	・消費者は、情報がたくさん入ってくるため、欲しい物をより安く買う手段を知っている。割安感がなければ購入しない。カー用品は客の減少を止められない状況が今後も続く。
住関連専門店（店員）	・良くなる外的、内的要因はなく、現状維持が精一杯である。
その他小売〔総合衣料〕（店員）	・販売量が増加する見込みはなく、現在の良くない状況が今後も続く。
高級レストラン（スタッフ）	・曜日構成、天候や季節要因によって月ごとの売上は変動しているが、基調変化の兆しはみられない。 ・飲食店の数は増加しているが、店当たりの売上は減少している。
一般レストラン（スタッフ）	・ゴールデンウィーク後の来客数が減少している。
スナック（経営者）	・5月は前年同月比で良くなく、特にゴールデンウィーク明けは街の人通りも閑散としている。天候で客の入りが左右されており、梅雨時期の客入りも心配される。
都市型ホテル（従業員）	・予約の件数に特に目立った動きはない。
都市型ホテル（スタッフ）	・婚礼関係が減少しており、祝宴会の予約も少なく、あまり変わらない。
旅行代理店（経営者）	・この3か月の来客数は増加しつつあるものの、今後については明るい材料が少ない。
旅行代理店（経営者）	・2か月ほど前から来客数が増える兆候があるが、参議院選挙までは動向がわからない。原油の値上がりなども懸念材料である。
旅行代理店（従業員）	・団体旅行がかなりの勢いで戻ってきている。しかし、海外旅行の依存度が高い当社にとっては、ここ数年で経験したテロ、SARSのようなリスク発生に対する不安が残っている。
旅行代理店（従業員）	・今年は梅雨が長いが冷夏にはならないとの予報があり、期待できる。しかし週末の天気が悪いことも多く、客足が伸びない不安もある。
タクシー運転手	・タクシーの利用は底を打っているが、変化する要素もない。
タクシー運転手	・地方の景気が回復するまでには1～2年かかる。
タクシー運転手	・多少は良くなるかもしれないが、変わらないという考えが強い。
通信会社（営業担当）	・通信各社の価格の引き下げやサービス競争などがあり、競争はますます激化する。
観光名所（案内係）	・天候次第の様子となっており、夏が暑くなれば上向き、天候不順が続けば悪くなる。
ゴルフ場（企画担当）	・梅雨、夏場と厳しい季節に入るが、現状では悪くなっているわけではない。天候が悪くならなければ、来場者数は前年並みに確保できる。
美容室（経営者）	・新規店のオープンがあったり、他店がディスカウントしているため、かなり厳しい状況になっている。
住宅販売会社（経営者）	・客は預貯金をあまり持っておらず、不動産購入には慎重である。
住宅販売会社（従業員）	・単身向けアパートに対する入居需要は高くなっているが、ファミリー向けアパートに対する入居需要があまり見込まれず、現状と変わらない。
住宅販売会社（業務担当）	・当社は景気回復の実感はないが、業界内では好況な企業もあり、景気が悪くなる要素も今のところ見当たらない。
その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・全体的に受注量は現在の状況を維持していく。
やや悪くなる	
商店街（代表者）	・販売量はますます悪くなり、対策が見つからない。
百貨店（売場主任）	・4月は靴を一度に2足購入する客も多かったが、今月は1足でビジネスにもカジュアルにも使える靴はないかと一生懸命探す客が増えている。また駅に近いので、緊急用に安い靴を買い求める客もあり、売上単価はかなり低下している。
スーパー（総務担当）	・家電商品、住居関連商品の売上が極めて悪く、食品の売上に依存している状況である。
コンビニ（エリア担当）	・石油価格の高騰によって様々な商品価格が高騰することが予想され、現状以上に消費意欲は減退する。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・原油価格の上昇が消費マインドに水を差す。
美容室（経営者）	・競合店が増加している影響が出てくる。

		<p>その他サービス [パチンコ機器製造販売] (エリア担当)</p> <p>設計事務所 (経営者)</p> <p>設計事務所 (経営者)</p> <p>設計事務所 (営業担当)</p> <p>住宅販売会社 (企画担当)</p>	<p>・ 7月1日に風営法が一部改正されるため、8月以降は模様眺めになりやや悪くなっていく。</p> <p>・ 現時点では実施設計につながる計画案件が少なく、実施設計への成功率も100%ではないため、2～3か月後の仕事量は減少する。</p> <p>・ 全体的な仕事量が減少している。</p> <p>・ 新規分野での取り組み、事業性についていまだ不透明である。</p> <p>・ 石油製品、ガソリンや鉄鋼価格の値上げが心配である。原価が上昇する。</p>
	悪くなる	<p>商店街 (代表者)</p> <p>スーパー (店長)</p>	<p>・ 前年比の実績が連続で落ち込んでおり、回復の見通しがつかない。</p> <p>・ 8月初旬に地域最大規模の大手スーパーがオープン予定で、客はオープンセールに向けて買い控えを始める。また、オープン後は客がそちらに流れ、状況はますます悪くなる。</p>
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	<p>電気機械器具製造業 (経営者)</p> <p>電気機械器具製造業 (営業担当)</p> <p>輸送業 (エリア担当)</p> <p>輸送業 (エリア担当)</p> <p>金融業 (従業員)</p> <p>その他サービス業 [ソフト開発] (社員)</p>	<p>・ 国内の売上高は5月は低迷したが、7月には5月に対し20%程度の増加を見込んでいる。ただし今後は、生産量の増加に際して部材の調達ポイントとなる。</p> <p>・ 地上デジタル放送のサービスエリアが拡大され、既設設備の見直しが生まれる。</p> <p>・ 今後はますます良くなっていくと考えている。</p> <p>・ 夏場、秋口、クリスマスに向けて出荷量は増加する。</p> <p>・ 解約などが増加している反面、高額な年金商品などを一時払いで購入する人も増加しているため、平均的な景気は少し良くなってきている。</p> <p>・ 大手自動車メーカーグループとの取引が引き続き見込まれる。</p>
	変わらない	<p>食料品製造業 (企画担当)</p> <p>パルプ・紙・紙加工品製造業 (総務担当)</p> <p>印刷業 (営業担当)</p> <p>鉄鋼業 (経営者)</p> <p>金属製品製造業 (従業員)</p> <p>金属製品製造業 (従業員)</p> <p>一般機械器具製造業 (経理担当)</p> <p>電気機械器具製造業 (従業員)</p> <p>輸送用機械器具製造業 (工務担当)</p> <p>建設業 (経営者)</p> <p>輸送業 (従業員)</p> <p>輸送業 (エリア担当)</p> <p>輸送業 (エリア担当)</p> <p>金融業 (企画担当)</p> <p>企業広告制作業 (経営者)</p> <p>広告代理店 (従業員)</p> <p>広告代理店 (制作担当)</p> <p>新聞販売店 [広告] (店主)</p> <p>税理士</p>	<p>・ 消費税総額表示による影響が上流の製造業にも現れており、今後も長期間影響が残る。また原油の値上がりも包材に影響を与えている。</p> <p>・ 今後も現在の良い状況が継続していく。</p> <p>・ 今の状況では、急激に上向きになることは考えられない。</p> <p>・ 中小企業の業績が伸びなければ、全体が伸びているとはいえない。</p> <p>・ 現状と変化はないが、今後は原油、鉄鋼や非鉄金属の価格上昇が収益に影響を与える。</p> <p>・ 大型プロジェクトが終盤を迎えており、今後は仕事の谷間になる。</p> <p>・ 地元の大手金融機関などで問題が発生しており、不安感がある。</p> <p>・ 今月の受注増は、決算前に在庫を極力少なくした反動であるため、今後は更なる受注増は見込めない。しかし、受注が減る雰囲気や情報もない。</p> <p>・ 高い生産レベルを維持している。</p> <p>・ この数か月間引き合いが増加しているが、建材、特に鋼材の値上がりが見込まれ、設備投資はやや慎重になっていく。</p> <p>・ デジタル家電関連や輸出が景気を押し上げているものの、原油価格の高騰など不安材料も山積している。</p> <p>・ 夏物商品の荷動きが良くなる時期であるが、消費者の買い控えが続いているため目立った動きはない。</p> <p>・ 客先では明るい話は出ているが、燃料の値上がりが水を差そうである。</p> <p>・ 企業間の競争は厳しく、体力勝負の様相である。この競争が一段落しないと景気は良くなる見込みはない。</p> <p>・ 秋以降の変化に期待したいが、現状では変わらない雰囲気である。</p> <p>・ 中部地区の広告業界は愛知万博の特需でにぎわっている感があるが、逆に言うとそれしか良い材料がない。</p> <p>・ 新規の受注予定は決まっておらず、現状維持である。また、競合他社との価格競争も相変わらず厳しいため、保留やキャンセルになることも予想される。</p> <p>・ チラシの受注量は順調にあるが、広告形態が見直されており、心配な面もある。</p> <p>・ 客に積極的な姿勢がみられず、今後も同じ状況が続く。</p>

		公認会計士	・大企業のリストラは一巡したが、そのしわ寄せが中小企業に及んでいる。また中小企業の淘汰はまだ済んでいない。 ・大手都市銀行の姿勢も以前と変わっていない。
		その他非製造業〔デザイン〕(経営者)	・売上は増加しても利益が好転するには至らない。
	やや悪くなる	電気機械器具製造業(経営者)	・鋼材の値上がり浸透してきている。また、円高や中国依存の高さなど不安材料が多く、しばらくは停滞あるいは若干の落ち込みがある。
		電気機械器具製造業(従業員)	・年度が変わり新予算の執行ができる月次であるが、設備の引き合いは減少している。客の今後の見通しは楽観的ではない。
		輸送用機械器具製造業(統括)	・取引先の再建計画がどのように推移するのか見通しがつかないため、慎重に推移を見守る。
	悪くなる	窯業・土石製品製造業(経営者)	・窯業界の景気の先行指数となる新住宅着工件数が減少している。
		非鉄金属製品製造業〔鋳物〕(経営企画担当)	・原材料価格が高騰しているが販売価格に転化することができず、同業者間での競争はますます厳しくなっていく。
雇用関連	良くなる	人材派遣会社(社員)	・自動車関連の製造業からの需要が大幅に増加しており、この傾向は今後も続いていく。
		求人情報誌製作会社(企画担当)	・愛知万博関連、中部国際空港関連などの求人が具体化しつつあり、大量の求人によって急激に売手市場となっている。
		学校〔大学〕(就職担当)	・求人数は前年比で伸びている。製造業35%増、建設業34%増、卸・小売業13%増、金融業7%増、運輸・通信12%増、サービス業17%増と、ほぼ全業種にわたって求人意欲が高くなっている。
	やや良くなる	求人情報誌製作会社(編集長)	・大手自動車メーカーの系列からのニーズがまだしばらくは活況を呈する。
		求人情報誌製作会社(編集者)	・求人数自体は2月、3月とほぼ同じであるが、大手自動車メーカー関連企業を始め取材先企業からは、今後中途採用の予定があるなど人材採用に積極的なコメントを多く聞いている。
		職業安定所(所長)	・大手自動車メーカーの工場閉鎖計画が発表されており、将来の雇用に多少影響があるが、管内企業の当該企業に対する取引比率は約1割程度と低く、大きな影響は避けられる見込みである。逆に、この件を契機に技術者などの受け入れの問い合わせがある。
		民間職業紹介機関(経営者)	・大手メーカーの新卒採用も一段落し、一時的に停滞していた中途採用の選考が一気に動き出す。しかし依然として、大手自動車やデジタル家電メーカーのエンジニア求人の競争は激しく、企業が求める人材の不足は当面続く。
		民間職業紹介機関(職員)	・この地域は大手自動車メーカー関連企業が多く、求人数は増加してきている。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・派遣希望登録者、派遣スタッフ希望者は通常月と変わらない状況であり、現在の状況が劇的に改善される見込みもない。
		人材派遣会社(社員)	・派遣受注は堅調に推移しているが、スタッフ不足も当然続くため、現状のままで推移する。
アウトソーシング企業(エリア担当)		・求人数は変わらず増加傾向であるが、求職者数は増加しておらず、雇用のミスマッチが解消されない。	
新聞社〔求人広告〕(営業担当)		・雇用形態が改善されない限り、急速に景気が良くなるとは考えにくい。	
職業安定所(職員)		・採用者が増加して雇用が確保されても、賃金条件は相変わらず厳しい。また現時点でも、零細企業では非自発的離職者が多い。	
職業安定所(職員)		・国内産業では求人数が増加し、求職者が減少している。	
職業安定所(職員)		・一部の企業で事業所閉鎖、人員整理があるものの、雇用に大きな影響はない。 ・求人は、建設業では公共事業の予算圧縮の影響もあり中小企業で厳しいものの、製造業では輸送用機械機器製造業で好調である。他産業も多少の変動はあるものの一定の水準を維持しており、求人は確保される見込みである。当面の雇用環境は横ばい状態が続く。	
やや悪くなる	-	-	
悪くなる	-	-	